

# タカネバラ

*Rosa nipponensis* Crèp.  
バラ科

【福井県カテゴリー】新：県域絶滅危惧Ⅱ類 旧：—

【環境省カテゴリー】—

## 選定理由

生育地、個体数とも少ない。1 山域にのみ確認されているだけである。

## 分 布

本州（中部地方以北）、四国（剣山、東赤石山ほか）に分布。県内では奥越に分布する。

## 種の特徴

高山や亜高山の草地や岩石地に生える落葉低木。樹高は1～2mになり、枝はよく分枝する。葉は奇数羽状複葉で、7～9個の小葉からなる。小葉は長楕円形から楕円形になり、短い小葉柄があり、縁には刺状にとがった鋸歯がある。花期は6～7月。小枝の先端に1～2個の紅紫色の花をつける。

## 生育を脅かす要因

産地局限、踏みつけ、自然遷移、温暖化の進行が生育を脅かす。

参考文献 佐竹義輔ほか（1982b）、奥田重俊編（1997）、福井県植物研究会（1999）

市 町 別 生育情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市	
																	○	

# ハマナス

*Rosa rugosa* Thunb.  
バラ科

【福井県カテゴリー】新：県域絶滅危惧Ⅱ類 旧：県域絶滅危惧Ⅱ類

【環境省カテゴリー】—

## 選定理由

生育地、個体数とも少ない。

## 分 布

北海道～本州（茨城県、島根県以北）に分布。県内では嶺北、嶺南の海岸沿いでみられる。

## 種の特徴

海岸の砂地に生える落葉広葉樹。枝には刺が密生する。葉は有柄、互生し有毛。托葉がある。春、枝先に紅色まれに白色の花をつける。偽花は8～9月頃赤く熟し食べられる。

## 生育を脅かす要因

海岸開発、整地、踏みつけ、園芸採取が生育を脅かす要因となる。

参考文献 佐竹義輔ほか（1982b）、奥田重俊編（1997）、福井県植物研究会（1999）

市 町 別 生育情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
		○	○	○	○						○		○				○

# ベニバナイチゴ

*Rubus vernus* Focke  
バラ科

【福井県カテゴリー】新：県域絶滅危惧Ⅱ類 旧：—

【環境省カテゴリー】—

## 選定理由

生育地、個体数とも少ない。1 山域にのみ生育が確認される。

## 分 布

北海道～本州（中部地方）に分布する。県内では奥越地方に生育する。

## 種の特徴

亜高山帯多雪地に生育する落葉低木。イチゴの仲間であるが、茎には刺がなく、つる状とはならない。葉は3出複葉で、頂小葉はひし状広卵形。葉の両面には毛があり、欠刻状の粗い鋸歯となる。花期は6～8月。枝先に紅紫色の花を1個、下向きにつける。

## 生育を脅かす要因

産地局限、温暖化の進行が生育を脅かす要因となる。

参考文献 佐竹義輔ほか（1982b）、奥田重俊編（1997）、福井県植物研究会（1999）

市 町 別 生育情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
																○	